



2016年7月1日

報道関係 各位

東京家政学院大学

フランスで本学学生制作の短編映画が特別上映されます！
～第39回仏グルノーブル屋外短編映画祭（2016年7月5日～10日）にて～

【概要】

7月8日（金）22：15（予定・現地時間）、フランス共和国グルノーブル市恒例の「グルノーブル屋外短編映画祭」にて、本学現代生活学部生活デザイン学科学生7名の協働制作作品『友だちのカタチ』が上映されます。

本学から制作グループ学生7名のうち4名（本学職員同行）が上映に合わせて現地入り、つくば市職員も同行します。現地ではシネマテーク（映画祭主催）、グルノーブル・イゼール日仏協会、リヨン領事事務所と懇談なども行う予定。映画祭の様子を、学生たちがリアルタイムで日本に向け発信。発信情報は本学ホームページに掲載されます。

特集ページ：<http://www.kasei-gakuin.ac.jp/news/data/7885.html>

【経緯】

本学学生がフランスに行く経緯は、協働制作作品『友だちのカタチ』が第3回「つくばショートムービーコンペティションつくッペ」（主催：つくばショートムービーコンペティション実行委員会、つくば市、筑波学院大学 他）で全国から応募の53作品の中でグランプリを射止めたため。グランプリ賞と併せ、副賞の賞金10万円及び「フランス・グルノーブル屋外短編映画祭」での特別上映と、日本からフランス・グルノーブル（茨城県つくば市の姉妹都市）までの往復航空チケット1枚が授与されたことによります。

同作品は、特別審査員の映画監督・中村義洋氏（『アヒルと鴨のコインロッカー』など）によれば「…全体のレベルが上がっているなと感じた。（グランプリの）チームの作品は、最初の方に見たけれど『横綱』だった。（他作品に）敗れることはなかった」（「常陽新聞」3月12日スマートフォン版）と評価されています。

なお、本作品を協働制作した学生たち7名全員が生活デザイン学科の現4年次生。3年次生の時に受講した「メディアデザイン演習B（呉 起東 准教授）」の映像制作企画で、シナリオライティング、演出、撮影、編集等を学んだ成果が本作品に結実したものです。



写真:左から中村義洋監督（特別審査員）、市原健一つくば市長、受賞学生（7名のうち4名が登壇）

★『友だちのカタチ』あらすじ★

仲の良い女子大生4人組。ある日、今流行っているという“サイコパス診断”をすることに。偶然にも1人だけ、答えがサイコパスだったことで3人は僅かながらも恐怖を感じた。しかし、それは始まりにすぎなかった…。

★つくばショートムービーコンペティションつくッペ <http://www.tsukuppe.org/topics/007473.html>

つくばからの文化発信と次世代の才能の発掘を目指し開催。市民が楽しめる映画祭として企画され、今年も映画監督の中村義洋氏が参加。民・産・官・学の共催で行うムービーフェスティバルは、全国でも珍しい取り組みです。

<特別審査員：中村義洋（映画監督）／市原健一（つくば市長）／大島慎子（筑波学院大学学長）／池上一郎（コンテンツプロデューサー）／その他、市民審査員>

★本件についてのお問い合わせは以下へお願いします。

東京家政学院大学 入試広報グループ（大学広報） 和久 雄亮（わく ゆうすけ）

〒194-0292 東京都町田市相原町 2600 番地（町田キャンパス）

TEL:042-782-9412 FAX:042-782-1711 E-MAIL:waku@kasei-gakuin.ac.jp



「グルノーブル屋外短編映画祭 2016」ポスター



<http://festival.cinemathequedegrenoble.fr/>